

主な議案審議

ビニールハウス倒壊、大雪被害の支援補助金180万円

問 180万円の農業振興費が計上されている。大雪被害を受けた被災農業者向けの事業と聞いているが、その内容は。

答 ビニールハウス倒壊の補助金である。町内の被害状況は5件の農家、579㎡のハウスが倒壊した。補助金率は下記の通り。

補助率	国	県	町	自己負担
ハウスの撤去 110円/㎡	4分の2	4分の1	4分の1	無し
新設	10分の5	10分の2	10分の2	10分の1

問 撤去費用は倒壊したハウス全棟に出るのか。

答 営農を続ける農家に出る。ハウスを新設することが条件となる。



2月の大雪で倒壊したビニールハウス

子どもたちが育てたどんぐりの苗 緑の丘公園に植樹

問 植樹教育の事業内容は。

答 日本財団が進める事業である。環境教育活動で、海を守る植樹教育事業として、森・川・海へのつながりに着目して、森の大切さを子どもたちに伝える事業である。どんぐりを苗から育て植樹する体験型の環境学習である。平成24年度にどんぐり教室を開催し30名が参加して、約200本が30～50cmほどに成長している。本年9月27日、緑の丘公園内に約250㎡を使い植樹祭をする。また、当日は横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏が来園予定である。



どんぐりの植樹が予定されている県営まつぶし緑の丘公園

学童クラブが6年生まで拡大

問 学童クラブは6年生まで受け入れることになる。男女共同参画社会のなかで、女性の社会参加が拡大する。希望者全員を受け入れられるのか。

答 現在、町の学童クラブの利用者数は331名。松伏町全体の定員数は355名。現在も6年生までの希望者全員を受け入れている。今後も定員内で推移すると考えている。

問 もし定員をオーバーした場合はどうするのか。

答 点数制による制度もあるが、定員内で希望者を預かれると考えている。



仲よく一輪車を練習する子どもたち